

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 2 月 18 日 (2016.2.18)

【公開番号】特開 2014-138645 (P2014-138645A)

【公開日】平成 26 年 7 月 31 日 (2014.7.31)

【年通号数】公開・登録公報 2014-041

【出願番号】特願 2013-8304 (P2013-8304)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 1 0

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 22 日 (2015.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線源と、

前記 X 線源を収容する略直方体形状の収容部と、

前記収容部に設けられた支柱部と、

前記支柱部に略直交に設けられた把持部と、

前記収容部の転倒を防止する転倒防止部とを備え、

前記把持部は所定方向に伸縮可能であり、その先端部近傍に前記 X 線源が取付け可能であることを特徴とする X 線撮影装置。

【請求項 2】

前記収容部に設けられた車輪を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の X 線撮影装置

。

【請求項 3】

前記転倒防止部は、前記収容部の蓋を兼ねることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 4】

曝射制御部を具え、前記転倒防止部が所定の位置にないときは前記 X 線源から曝射しないように曝射制御することを特徴とする請求項 3 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 5】

前記転倒防止部は、X 線検出センサ設置指標を有することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の X 線撮影装置。

【請求項 6】

前記 X 線源は、複数の X 線焦点を有するマルチ X 線源であることを特徴とする請求項 5 に記載の X 線撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 6 】

本発明の X 線撮影装置は、X 線源と、前記 X 線源を収容する略直方体形状の収容部と、前記収容部に設けられた支柱部と、前記支柱部に略直交に設けられた把持部と、前記収容部の転倒を防止する転倒防止部とを備え、前記把持部は所定方向に伸縮可能であり、その先端部近傍に前記 X 線源が取付け可能であることを特徴とする。

また、本発明の X 線撮影装置において、前記収容部に設けられた車輪を備えることを特徴とする。